

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343H201	医療データ解析・活用論 (Medical Data Analysis and Applications Theory)	融合人材育成科目 先進領域融合科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	2	後期	火・4	安徳 恭彰 内線： 5162 E-mail： antokuy@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

医学における Evidence Based Medicine (EBM) の実践には大量の診断・診療データ (ビッグデータ) の有効な解析・活用が必須である。疫学研究のみならず、DPC (診断群分類別包括評価) を用いた解析も可能となっている。本講義では、従来の疫学研究手法にくわえて、DPC データ等の解析法等も含めた医療データの解析・活用法について学ぶ。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. データ解析に必要なデータクリーニング手法を学ぶ	○		○			
2. 統計解析手法、ビッグデータ解析手法を学び、比較検討する	○		○	○		
3. 多岐に分散保存されたデータをまとめ、解析するまでの流れを理解する	○				○	

【授業の内容】

1	データ解析手順：現場において0からデータ解析を始めるための手順について系統的に理解する
2	データクリーニング手法：多岐に分散されたデータをまとめ解析に利用できる形にまとめあげる
3	データクリーニング演習：匿名化された実データを用い実際にクリーニング作業を行う [課題1]
4	データ解析手法：解析手法による違いなど
5	統計的データ解析：クリーニングされたデータを用いた統計解析を行う [課題2]
6	ビッグデータ解析：ビッグデータを用いた解析を行う [課題3]
7	DPC データ、NDB オープンデータの解析
8	総論

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	演習、小テスト
B：意見の表現・交換		
C：応用志向	○	DPC データ、NDB オープンデータへの応用
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する (15h)。
事後学修	課題によりデータ取りまとめから解析までを理解する (15h)。

【教科書】 特になし

【参考書】 特になし

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
課題1	20%	○		○
課題2	20%		○	○
課題3	30%		○	
小テスト	30%	○	○	○

【注意事項】**【備考】**

教員の実務経験の有無	×	
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面	